

原敬 （總） 政治家。安政二年二月九日陸奥國益岡生れ。大正十年十一月四日没（二八六一一九二）。幼名健次郎。號一山、逸山、鷲山樵夫等。司法省法律學校中退。新聞記者を経て官界に入り、天津領事、外務次官等を務める。明治二十年大阪毎日新聞社社長、二十二年も憲政友會幹事長、二十五年衆議院議員。逋信柏、内相歴任。大正二年政友會總裁、七年組閣。大塚學實中岡良一（こんじやう）を東京驛頭で刺殺せられた。

譯書、ヤナトール、ラングロヤ纂譯（シケールリワード 原著）（露西亞國勢論）（明治十二年九月序・櫻水舎）等。

文獻、木金幾三郎著 （平沢） 幸村原敬と其周圍（再版）（大正八年七月）二十七日（ニ松堂出版部）、井上雅一著 （平沢） 幸村原敬（大正十年十一月）（増訂第二版・大正十一年十月五日隆文館）、佐藤國二郎著 （平沢） 早大平民原敬（大正十二年四月）、千石大誠堂「人物評傳全集」）、（平沢） 『原敬先生二十年記念誌』（昭和二十七年一月序・原敬先生二十年記念事業委員會）、前田蓮山著 （平沢） 『原敬』（昭和二十二年四月一日時事通信社）（二） 代幸村列伝（一）、尾形八郎兵衛編『秋の蝶―原敬句碑談―』（周年記念誌）（昭和二十九年十月山形・原敬句碑保存会）、高村光一著『原敬』（昭和四十五年一月十日原敬伝誌刊行会）、原奎一郎著 （平沢） 『原敬』

（昭和四十六年七月）二十日毎日新聞社）、金原左門著 （平沢） 『大正期の政

と國民（原敬内閣下の政治過程）』（昭和四十八年十月）千石大誠堂「増訂書」等。

